

系 統

特殊合成ワニス系リーフィング形アルミニウムペイント

特 長

- 1) 美しい銀色の仕上りが得られます。
- 2) 耐候性に優れています。
- 3) 熱反射性が高いため、内容物の温度上昇を防ぎます。
- 4) 隠ぺい力にすぐれ、少ない所要量できれいな仕上がりが得られます。

塗料性状

項 目		内 容
1	荷姿	16L、4L、1L
2	混合比	—
3	色	シルバー
4	塗料密度	0.97
5	溶剤密度	0.80
6	加熱残分	55%
7	劇物表示 (品名・含有率)	—
8	労安法上の 表示有害物	キシレン
9	使用有機溶剤種別	第3種
10	消防法による 危険物区分	第2石油類

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装要領

- 1) 調合と熟成
開缶後、下記シンナーを規定内で混入し、十分に攪拌したのち使用してください。
- 2) 使用シンナー名
塗料用シンナーA
- 3) 希釀率(質量%)
エアレス 0～10%、ハケ塗り 0～5%
- 4) エアレス塗装条件
2次圧 10MPa(100kg/cm²)以上、
チップNo.163-513～617

塗付量と膜厚

	平均膜厚		標準塗付量 ^{注)}
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー	15	50	120
ハケ塗り	15	50	90

注) 標準塗付量は個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 使用時間

項 目	温 度		
	5°C	20°C	30°C
乾燥時間	指触	2時間	1時間
	半硬化	6時間	3時間
標準塗装間隔 ^{注)}	最短	32時間	16時間
	最長	7日	7日
使用時間		—	—

注) 同じ塗料又は同系統の塗料を塗り重ねる場合です。

適用下塗塗料

ラスゴンセーフティ(K)、ラスゴンセーフティ(K)超速乾、速乾セビナイト(F4)

注)ラスゴンセーフティ(K)及びラスゴンセーフティ(K)超速乾に塗り重ねる場合は、製品説明書に記載の「使用上の注意事項」を厳守してください。

耐熱温度

短時間 120°C耐用、長時間 80°C耐用

(サンプル)

製品取扱上の注意事項(安全衛生他)

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照下さい。

予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液体の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げるなどしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

●子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壤等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。